

講座

7

井上ひさしと大江健三郎

【定員】 72名 【受講料】 2年会員13,380円 1年会員15,060円 聴講生20,080円

『歴史・文学・人間学』文学 【時間】 毎回 10時30分～12時00分 (計12回)

概要

まったく異なる文学的出発をしながら20世紀末に共振し始め「九条の会」運動を共に担った井上ひさしさんと大江健三郎さん。お二人と深くかかわった文学研究者としての思いを語っていきます。

回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/17(水)	川崎市 生涯学習 プラザ	井上ひさし『モッキンポット師の後始末』① 自伝への挑戦	東京大学名誉教授 小森 陽一
2	4/24(水)		井上ひさし『モッキンポット師の後始末』② 戦後日本とアメリカ	
3	5/ 1(水)		井上ひさし『父と暮らせば』① 娘と父の関係性	
4	5/ 8(水)		井上ひさし『父と暮らせば』② 笑いが生まれる場所	
5	5/22(水)		井上ひさし『一週間』① 20世紀への問い直し	
6	5/29(水)		井上ひさし『一週間』② 戦後日本への批判	
7	6/ 5(水)		大江健三郎『われらの時代』① 60年安保の中での小説家	
8	6/12(水)		大江健三郎『われらの時代』② 戦後文学と政治	
9	6/26(水)		大江健三郎『個人的な体験』① 初期小説からの転換	
10	7/ 3(水)		大江健三郎『個人的な体験』② 子どもとの共生	
11	7/10(水)		大江健三郎『万延元年のフットボール』① 四国の森の中の村という設定	
12	7/31(水)		大江健三郎『万延元年のフットボール』② 近代日本への認識	

連絡事項

各回の作品を事前に読んでご参加いただければ、より深くご理解いただけます。
1月31日現在、第1回・第2回の著書のタイトルの修正しました。
3月27日現在、先生のご都合により第1回が、4/17に変更になりました。